



かさおか

12月

来年の干支は



『さようなら2024年』

私たちの生活を脅かしてきた新型コロナウイルス、今も少数ながら感染者も出ていますが、社会の中にコロナへの免疫を持つ人が増えて重症化する人が減った結果、医療現場の大きな問題は起きてないことが、今の平和を支えている基本的背景のようです。

さて私共まちづくり協議会は「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思える「まちづくり」を目指して活動に取り組んでおり、去る10月の会報に掲載しましたが、課題の中に「まちづくり計画の見直し」を上げており、総会以降の総務部会・役員会を始め10月20日には未来会議を開いて問題点をピックアップしたところです。近年は人口減少・少子高齢化など生活環境は大きく変わり、設立後に策定したまちづくり計画も時代に即した見直しが求められており、公民館や民生委員協議会など各種団体と連携強化を図り、情報を共有しながら所期の目的達成に取り組んで参りたいと思います。

まちづくり協議会は皆さん一人ひとりが会員です。「自分たちの地域を住み良くして行こう」との共通の思いを持って頂き、積極的なご参加とご支援をお願い申し上げます。

ところで、今年もイルミネーション設置に向けて各高校では制作が進んでおり、12月14日の点灯式には感動をお届けしますので、皆様の温かいご声援をお願いいたします。

終わりに、来年の干支は「乙巳(きのと・み)、乙(きのと)」は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされており「新しいことが始まる一年だと言われ、成功という芽が成長して姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているとか。

来年は良い年になって欲しいですね。

会長

行事予定

- 令和7年第1回子育て部会
1月15日(水)18時30分～
- ★駅前コラボin笠岡
○クリスマスイルミ点灯式
12月14日(土)17時～
- ★12月28日から1月4日まで
年末年始のため休館します。



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地

「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日14時～17時

第2回 落語会のご案内

2024.7.8

と き 令和7年1月19日(日)13時30分開演

ところ 井戸会館2階 集会室

出演予定者 ・二代目 笑皆亭 口口
・ 笑皆亭 二園
・二代目 笑皆亭 小笑
・ゲスト 東屋 三人生

入場は無料です。50名程度の席を用意していますのでお早めにお越しください。

笠岡小さな映画館プロジェクト(I DOシネマ)

笠岡小さな映画館プロジェクトでは、井戸会館での催し物を多くの人に知っていただくために、7月8日に続いて第2回目の落語会を開催することになりました。

皆さ〜ん 身近な寄席で落語を楽しんでください。

☆落語と寄席の違いとは？

寄席と書いて「よせ」と読み、「寄せ場」や「寄せ席」の略語で、人を寄せるという意味があります。「落語」は噺家が演じる演芸のことを指し、「寄席」は落語などを上演する場所のことを指す言葉です。



「笠岡今はむかし物語」

昭和45年8月に呉線電化で転属廃止される糸崎機関区に所属する大型蒸気機関車のお別れ運転が、山陽線の岡山・糸崎間でありました。8月22日に笠岡駅に停車した写真からは、機関車から立ち昇る2本の煙で重連とわかりますが、陸橋や線路沿いの道には沢山の車や人だかりができたようです。

“さよなら列車”はC62型とC59型の2重連で、C62型は「つばめ」「はと」「かもめ」など、戦後数多くの特急列車を牽いていましたが、時代とともにSLの歴史は幕を閉じました。

写真提供: 仁科勝吉氏

編集後記

2024年最後の会報になりました。一年を振り返ってみると、まず一番は記録的な暑さが長く続いた年であったかと思います。“来年の事を言えば鬼が笑う”とのことわざがありますが、新しい年が平和で過ごしやすいことを願っています。

I・M

いど IDOシネマのご案内

第35回映画会 12月8日(日)午前10時開演

- ・笠岡懐かしの映像 15分
- ・海 青き大自然 『海の中の四季』 55分

第36回映画会 R7年1月13日(月)午前10時開演

- ・笠岡懐かしの映像 15分
- ・海 青き大自然 『海と陸の狭間で』 55分